

## 令和4年12月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和4年12月23日(金) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳
事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	大館	秀光
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	熊谷	誠二
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	三浦	幸治
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	佐々木	誠
	図書館副館長	磯嶋	奈都子

## 開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和4年12月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

## 主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに「令和4年12月八戸市議会定例会一般質問について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから御意見、御質問等ありましたら、お願いします。

### 【令和4年12月八戸市議会定例会一般質問について】

(福井委員)

5ページ、6ページの「部活動の地域移行について」になります。質問ではなく、意見を述べさせていただければと思います。6ページの質問内容に「小学校の愛好会活動も同じように総合型スポーツクラブ等への地域移行を進めるべきではないか」という質問がございました。このことに関しては、教育長及び市長から答弁がありましたけれども、私もその内容に賛同いたします。将来の方向性としては、部分的にそのようになろうかと思いますが、「総合型」とは称していますが、全ての競技を網羅しているわけではありませんし、何より通わせる時間的・経済的負担など、課題が山積しているように感じております。拙速に判断せず、他の地域の成功例や失敗例を十分に検証し、実効性のある施策をお願いしたいと思っております。

事務局では、既に検討を進めていると思っておりますので、重複してはいたしません。2点ほど意見を述べたいと思います。1点目は、特に競技スポーツの運動関係ですが、子どもたちの体力にはそれぞれ違いがあり、発達段階に応じて指導方法も異なってきますので、小・中学校といった校種を跨いでの一斉指導の危険性には留意していただければと思います。実際、私が経験した中高一貫校でさえ、それぞれの生徒の体力差は大きく、同じ部活動であっても同じメニューでの指導はできない状況でした。ましてや、小・中学生となると、様々な配慮が必要になるかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

2点目です。教育的配慮の点から考えますと、学校の先生は、普段から児童生徒の学校生活を観察しており、それぞれの状況を一番よく把握しておりますので、部活動指導者に適していると思ひます。体育の先生には専門の方もいますので、可能な限り、本人が希望する場合は、過重負担にならない程度で部活動に携われるような体制の構築も合わせてお願ひしたいと思ひます。以上、意見でした。よろしくお願ひいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

私からは、8ページの夏坂議員が質問なさいました「言語能力など学習の基盤となる資質・能力の育成について」、感想を述べさせていただきたいと思います。児童生徒の言語能力の育成は、乳幼児期からの言語能力の育成と大きなつながりを持っているとっておりますので、乳幼児教育に携わる者は、夏坂議員の質問内容や教育長が述べられた答弁内容を改めて自覚して取り組まなければならないと思いました。接続教育を考える際に、小学校入学前から小・中学校まで見通した言葉の力を育成するための、例えば「見通しプログラム」のようなものを念頭に取り組んでいくことも重要ではないのかなと思いました。

また、この後「三浦哲郎少年少女作品について」の報告事項がございますが、このような取組も言語能力の育成に関連してきますので、より多くの児童生徒の皆さんが応募したいと思えるような、そういう環境作りにも努めていただければと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、ございませんか。

(小瀬川委員)

私は、24ページの「教員不足への対応について」、感想を申し述べたいと思います。産・育休代替教員の先行配置ということで質問がございましたが、まず、この答弁内容を読んで、配置可能となる時期も非常にタイトであるということに驚きました。また、臨時的任用教員が未配置になっている学校もあるということで、様々な課題を抱えているということがよく分かりました。そういう中で、文部科学省では、次年度に向けて年度当初から臨時的任用教員を配置できるような動きもあるようですので、子どもたちが安心して学校生活を送る上では、とてもよい改革であると思っております。

人員の確保の点で、大変な状況であるということには分かったのですが、男性の育児休暇に関しても一言申し述べさせていただきます。全国的にも男性の育児休暇の取得率が非常に低い状況となっております。近年は、少しずつ取得率が上昇してきているようですが、希望する方がいればの話になりますけれども、こういう育児休暇の取得というのは、職業やそれぞれの状況によっても違うかと思うのですが、こちらも働き方改革の一つとして、今後考えていかなければいけないのかなと思ったところでした。これから教員という仕事を指す世代の人たちのためにも、男女共同参画、家族や家庭生活との関わりといった考え方も大切になってきますので、そういう土壌作りというものも必要になると思っております。

もう1点になります。13ページの「中学校の性教育の現状と課題について」です。答弁内容の中にあります「いのちを育む教育アドバイザー事業」に関して、私の意見を申し述べたいと思います。私の子どもも、この講演会等を聞いて帰ってきて、家庭の中でこういう内容であったとか話す機会がありました。その時は感染症予防の話だったのですが、この「いのちを育む教育アドバイザー事業」に関しては、性教育だけではなくて、今後、命の大切さ等も大きく扱っていく必要があるのではないかなと思いました。夏になると、八戸市内で戦争体験された方の新聞記事等を拝見することがありますけれども、様々な形で「命

の大切さ」についてフォーカスしていくことが、今後必要だと思いました。

(教育長)

ありがとうございました。そのほか、ございませんでしょうか。

(西山委員)

私も中学校教員をしてきた関係もありますので、「部活動の地域移行」について意見を申し上げたいと思います。内容については、ほとんど福井委員と同様でありますけれども、特に中学校の部活動についてです。中学校の部活動は教育課程外の活動ではあるのですが、生徒指導関係としても非常に効果があると考えています。移行に当たっては、今後も子どもたちが意欲的にスポーツ活動等に対応していけるように配慮していく必要があると考えています。小学校もそうなのでしょうけども、中学校の場合は、上位大会への結びつき、接続というのがありまして、そちらの方にも対応しなければなりませんので、その部分についても、今後模索して対応していただければと思います。

(教育長)

ありがとうございました。そのほか、ございませんか。

(福井委員)

23 ページの「ヤングケアラーの支援について」です。最近、核家族化とか単身家庭が増えている関係で、家庭内でケアする人がいなくて、中学生が家事とか介護を担っているという報告があります。これは、中学生の17人に1人が該当している、地域差がないといった状況もあるようですので、非常にびっくりしております。ちょっと質問ですけれども、答弁内容の中に「学校からもヤングケアラーの恐れがある事案の報告等を受けている」とあります。具体的な数字は不要ですが、どのような報告で、本市でも増えてきているのか、また、現時点での報告を受けた後の対応について、お聞きいたします。内容的に慎重に扱われるべき部分もあるかと思っておりますので、答えられる範囲内でよろしいです。

(梅内教育指導課長)

福井委員の御質問にお答え申し上げます。こちらの報告につきましては、各学校で気になる児童生徒がいた場合に、教職員から声をかける場合もありますし、児童生徒の方から先生に相談してくる場合もございます。その際に、ヤングケアラーの可能性があった場合は、保護者に連絡したり、必要に応じてスクールソーシャルワーカーや市のこども家庭相談室に連絡したりして対応しております。

具体的な報告内容につきましては、個人情報や相談内容にも関係してきますので、この場では控えさせていただきます。

(教育長)

この「ヤングケアラーの支援について」は伊藤議員から質問がありましたけれども、昔であれば親孝行というか、そういう話になっていたと思います。ただ、ヤングケアラーという言葉には法令上の定義がな

くて、一般的には「本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされています。つまり、学校生活に支障が出るほど日常的に家事や家族の世話などを行っている場合ということですね。おばあちゃんの面倒を1日見るとかはあってもいいと思いますが、中学生や高校生が学校にも行けない、あるいは、出校したけど疲れ切って授業に支障が出るというのは問題がありますよね。一概に言えないとは思いますが、八戸市で把握している数字は横ばいであるとか、増加傾向であるとか、どういう状況ですか。

(梅内教育指導課長)

認識といたしましては、ちょっとずつ増加しているかなと感じております。

(伊藤教育長)

分かりました。スクールソーシャルワーカーとかいろいろな相談体制ができていますので、子どもが心を病むところまで追い込まれないように、迅速かつ丁寧に対応していくのが大事だろうと考えています。ありがとうございました。

そのほか、ございませんか。

[質疑なし]

それでは、次に入りたいと思います。次に「三浦哲郎少年少女作品賞について」事務局からの説明をお願いします。

### 【三浦哲郎少年少女作品賞について】

(梅内教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

(西山委員)

今回、三浦哲郎少年少女作品賞が制定10周年を迎えたということで、おめでとうございます。私としても嬉しく思いますし、ありがたいことだなと思いました。発足当初から関わってきたところがありまして、これだけ長く続いてきたことは、非常に意義あることだなと考えていました。三浦先生の御家族の御理解であったり、それから担当課や編集委員会の先生方の御苦勞であったりというものが、このような結果を生んだのかなと思います。

今回、10周年を記念して広く市民に周知するというので、ラジオ放送を使つての朗読であったり、受賞者本人が朗読したりと、効果的な取組だなと感じています。これでまた、たくさんのお児童生徒が作文を書くことに興味・関心を持って、多くの作品を応募してくれることに期待をしたいと思います。担当していた時からそうだったのですが、なかなか学校からの応募作品が増えない状況もあつて、指導する先生も

御苦労していたと思うのですが、今回このように指導者の部を創設することで、先生方の励みにもなるかと思っておりますので、さらに文集「はちのへ」の発展につながっていけばいいと考えています。

(伊藤教育長)

そのほか、ございませんか。

[質疑なし]

次に「体験！一日図書館員」の開催について」事務局からの説明をお願いいたします。

【「体験！一日図書館員」の開催について】

(磯嶋図書館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

私から一つ質問しますが、これはどうやって周知するのですか。

(磯嶋図書館副館長)

広報はちのへ1月号に掲載しているほか、同時にホームページでも掲載することになっております。また、館内での掲示や各学校へのチラシ配布をする予定です。

(伊藤教育長)

1月6日から受け付けて、定員になり次第で締め切りということですが、申込みは各学校が始まってからでも間に合いますか。

(磯嶋図書館副館長)

広報はちのへを御覧になって申し込みされる方が1番多いかと思いますが、冬休み明けくらいまでかなと思っています。

(伊藤教育長)

大変面白い取組ですし、図書館の本や蔵書数となると学校図書館とはまた違いますので、こういうのを子どもたちにPRすると、大変関心を持つだろうなと思っていたのでお聞きしました。

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

## 閉 会

これもちまして令和4年12月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時6分閉会)